

3. 工事監督のチェックリスト

このチェックリストは、原則として神戸市工事監督規程、建築工事監督要綱及び公共建築工事標準仕様書（建築工事編，電気設備工事編，機械設備工事編）〔平成 16 年版〕等に基づき，工事監督の重点項目を示したものである。

各項目の適用については，主管課長が工事の規模内容等により勘案するものとする。

【用語の解説】

監督員：神戸市工事請負契約約款（以下，「工事約款」という。）に規定する監督員をいい，原則として，請負人に通知された総括監督員，主任監督員及び担当監督員を総称していう。

請負人等：当該工事請負契約の請負人又は工事約款の規定により定められた現場代理人をいう。

承諾：工事約款及び設計図書（以下，「契約図書」という。）で明示した事項で、請負人等が監督員に対し書面で申し出た工事の施工上必要な事項について、監督員が書面により同意することをいう。

指示：監督員が請負人等に対し，工事の施工上必要な事項について書面をもって示し，実施させることをいう。

協議：書面により契約図書の協議事項について、発注者と請負人等が対等の立場で合議し結論を得ることをいう。

検査：施工の各段階で請負人等が確認した施工状況や検査結果等について，請負人等により提出された資料に基づき，監督員が設計図書との適否を判断することをいう。

立会い：契約図書に示された項目について、監督員が臨場し、内容を確認することをいう。

書面：発行年月日が記載され，署名又は捺印された文書をいう。

確認：契約図書に示された事項について、監督員が臨場若しくは請負人等が提出した資料により、監督員がその内容について契約図書との適合を確認、請負人等に対して認めることをいう。

【業務区分】

監督員の任務区分欄の各印は、下記を基準に監督業務を行うことを示す。

1) 監督業務内容の区分

印は、監督員の判断により必要な確認、請負人等に対して協議、申し入れ又は指示等を行う。ただし、監督員が自己の判断で決定できない場合は、上位の監督員に報告し指示を受ける。

承 印は、事前に承諾を行う。

検 印は、抽出検査を行う。

検 印は、全数検査を行う。

J I S又はJ A Sに定める規格に適合するものについては検査を省略することができる。

2) 現場立会いの別

立 印は、監督員が検査等を行うための抽出立会いをいう。

立 印は、監督員が検査等を行うための全数立会いをいう。

3) 上位の監督員への報告の区分

印は、書類等にて決裁又は報告する。

* 立会いの別及び監督員の任務区分の見方及び解説

ケース	立会いの別	監督員の任務区分			解説
		総括	主任	担当	
(1)					「担当監督員」は、書類又は現場で確認等し「主任監督員」へ報告若しくは決裁する
(2)				承	「担当監督員」は、書類等を事前に承諾し「主任監督員」及び「総括監督員」へ報告若しくは決裁する
(3)	立			検	「担当監督員」は、現場において対象となる部分の全数を立会い及び検査をする

〔注〕監督項目中の要点及び細目の()内数字は、標準仕様書の章・節・項目の番号である。

建築工事

区分	監督項目		主な事項	立会いの別	監督員の任務区分			備考	写真撮影
	要点	細目			総括	主任	担当		
地質調査	標準貫入試験		設計上必要な地耐力・支持層の確認に疑問を認めた場合上司に報告, 専任技術者	立			○	報告書の提出	○
	素掘り試験		設計上必要な地耐力・支持層の確認に疑問を認めた場合上司に報告, 専任技術者	立			○	報告書の提出	○
	(4.2.4) 地盤の載荷試験		施工計画書, 平板載荷試験, 沈下量の確認	立	←	○	○	特記の確認 報告書の提出	○
一般共通事項	計画通知等		工事着工前に確認済証の確認をする		←	←	○	計画通知提出工事	
	建設リサイクル通知書		建設リサイクル通知書及び産業廃棄物処理業者(契約書内容)の確認		←	←	○		
	現場説明		敷地境界線, ベンチマーク, 設計 GL 重要事項がある場合は, 上司に報告する	立		○	○	設計担当者の立会い 記録の作成	○
	(1.1.8) 設計図書の疑義		質疑応答書, 打合せ簿			←	○	記録の整備	
	設計変更		指示書を必ず作成する		←	←	○	指示年月日を明確にする	
	(1.1.4) 工事实績の登録		請負金額 500 万円以上の場合(500 万円以上かつ 2,500 万円未満は受注時のみ) (受注時, 工期・技術者等変更時, 完成時)				○	特記の確認 データシートの確認 CORINS 受領証の確認	
	(1.1.5) 施工管理体制		建設業法に基づく施工体制台帳(①施工体制台帳②下請負人に関する事項③再下請負通知書④下請負契約書) (下請契約を締結した工事の場合)		←	←	○	工事現場施工体制等チェック様式等(例:「施工プロセス」チェックリスト)による確認 施工体系図の掲示	
	損害保険等		保険種別, 期間, 保険金額, 工期延期の手続き				○	特記及び証書(写し)の確認	
	建設業退職者共済制度(建退共)		掛金収納書, 受払い簿, 制度に関する掲示				○		
(1.1.10) 工期変更資料		変更工程表, 説明資料, 理由書		←	←	○			

区分	監督項目		主な事項	立会 いの 別	監督員の任務区分			備考	写真 撮影
	要 点	細 目			総括	主任	担当		
一 般 共 通 事 項	(1.1.12) 文化財その他の埋蔵物		埋蔵物の適法処理	立	←	○	○		○
	(1.2.1) 実施工程表		実施工程表, 必要に応じて工程調整会議		←	←	承		
	(1.2.2) 施工計画書		総合計画書, 工種別の施工計画書		←	←	承	特記の確認	
	(1.2.3) 施工図等		別契約工事との調整, 総合図				承		
	(1.2.4) 工事の記録		協議内容, 指示内容, 工事の経過, 施工の記録, 工事写真等		←	←	○	必要に応じて提出請求	
	(1.3.3) 電気保安技術者		証明資料				承	特記の確認	
	(1.3.5) 施工条件		施工時間, 休日及び夜間作業				○	特記の確認	
	(1.3.8) 発生材の処理等		副産物の抑制, 再利用, 再資源化, マニフェスト の確認 特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法, 調 書			←	○	特記, 廃棄物処理委託 契約書の確認, 再生資 源利用計画書の提出 関連法規等の確認	
	(1.4.1) グリーン調達		証明資料 重点品目は完成時に所定の様式により提出			←	○	グリーン購入法 神戸市調達方針の確認	
	(1.4.2) 材料の品質等		材質, 仕上げの程度, 色合い, 同等品願い			←	承		
	(1.4.4) 材料の検査等		JIS マーク又は JAS マーク表示, 規格証明書		←	←	検	特記の確認 各章の検査, 試験等の 項目に適用	
	(1.4.5) 材料の検査に伴う試 験等		試験方法, 試験計画書, 試験場所	立		←	検	各章の検査, 試験等の 項目に適用	
	(1.5.2) 技能士		証明書			←	○	特記の確認	

区分	監督項目		主な事項	立会いの別	監督員の任務区分			備考	写真撮影
	要点	細目			総括	主任	担当		
一般 共通 事項	(1.5.5) 施工の検査等		指示工程毎の検査	立		←	検		
			見本施工	立	←	検	検	特記に記載された場合	
	(1.5.9) 化学物質の濃度測定		測定対象物質, 測定方法, 測定箇所数 測定室の指示, 技量証明書資料, 成績報告書の 確認				○	特記の確認	
	(1.7.2,3) 完成図等		完成図, 保全に関する資料		←	←	○	特記の確認	
	主任技術者 監理技術者		監理技術者:3,000 万円(建築一式工事の場合は 4,500 万円)以上を下請契約する場合		←	←	○		
	近隣家屋調査		内外観, 傾斜, 水平, 写真撮影, 報告書		←	←	○	特記の確認	○
	モデルルーム			立	←	検	検	特記の確認	○
	官庁検査		建築指導部検査, 消防検査, 福祉関連検査等	立			○		
	連絡体制	緊急時		事故発生時, 災害時等の対応		←	○	○	安全管理委員会, 安全 部会事務局等へ連絡, 報告
休暇等			GW, 盆休み, 年末年始等の長期休暇		←	←	○		
仮 設 工 事	仮設計画	(1.2.2) 施工計画書 (2.1.1~.2) (2.2.4) (2.3.1~.4)	仮設建物配置, 工事用各種機械設備, 動力, 給 排水設備, 仮囲い, 搬出入計画, 警備員の配置, 洗車設備, 他事業との関連, 現場の安全対策, 足場養生シート, 公害防止, 工事標示板, 実施工 程表		←	○	○	特記の確認 建築工事監理指針参照	○
		安全対策等	設計図書に特記		←	←	○		○
		一般的な対策					○		
	建物配置	(2.2.1) 敷地状況確認及 び縄張り	敷地境界, 隣接土地建物, 搬入道路	立			○		○
			建物位置の検査	立			検		○

区分	監督項目		主な事項	立会 いの 別	監督員の任務区分			備考	写真 撮影
	要 点	細 目			総括	主任	担当		
仮 設 工 事	建物配置	(2.2.2) ベンチマーク	不動点の確認	立			検		○
			現況地盤高の確認, 完成地盤高の検討	立			○		
		(2.2.3) 遣り方	基準墨の検査	立			検		○
	工事用仮設物	(2.4.1) 仮設物撤去 その他	仮設物撤去, 跡地整理状況	立		←	○		○
			仮設物の移転が生じ, 工事目的物の一部を使用 する場合	立		←	承		○
土 工 事	準備	(1.2.2) 施工計画書			←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
	(3.2.1) 根切り	根切り底	地質調査資料との対比, 指示地盤の検査, 深さ の検査, 床付面の保護, 地下障害物等の点検と その処理方法の指示, 施工計画書内容の検査	立			検		○
	(3.2.2) 排水		湧き水・たまり水等の処理の確認, 予想外の出水 等の協議, 根切り底・法面の保護, 敷地内と近隣 との安全性の確認	立		←	○		○
	(3.2.3) 埋戻し及び盛土		土質の確認, 締固め方, 余盛り 型枠存置の協議				○	特記の確認	○
	(3.2.5) 建設発生土の処理		処分地の確認, 再利用の指示, 工事間流用の指 示			←	○	特記の確認	
	(3.3.1) 山留め	(3.3.2) 管理	異常時処理の協議及び指示	立	←	←	○		○
		(3.3.3) 撤去		立			○		○

区分	監督項目		主な事項	立会いの別	監督員の任務区分			備考	写真撮影
	要点	細目			総括	主任	担当		
地 業 工 事	準備	(1.2.2) 施工計画書	既成杭地業, 場所打コンクリート杭地業, 地盤の 載荷試験, 施工管理技術者証明資料		←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
	杭材料	(4.3.2) 既成コンクリート杭	[RC 杭, PHC 杭] JIS マーク, 材種・寸法, 継手箇所数, 杭先端形 状	立			検	特記の確認 規格証明書	○
			[SC 杭, PRC 杭, ST杭他] 材種・寸法, 継手箇所数, 杭先端形状	立			検		○
	(4.4.2) 鋼杭	(4.5.3) 場所打ちコンクリ ート杭	[鋼管杭, H 形鋼杭] JIS マーク, 材種・寸法, 杭先端形状, 補強	立			検	特記の確認 規格証明書	○
			鉄筋: 結束, 継手, 溶接, 鉄筋かご補強, かぶり厚 さ [5章 鉄筋工事]の適用	立			検		○
	工法	(4.3.4) セメントミルク工法	コンクリート: 種別, 強度試験, スランプ試験 [6章 コンクリート工事]の適用	立			○		○
			技量証明書資料, 圧入による杭の建込み	立			○		○
	(4.3.7, 4.4.6) 杭頭の処理	(4.5.4) アースドリル, リバ ース, オールケー シング工法	深さ及び支持地盤 地中障害がある場合, 支持地盤に疑問を生じた 場合その状況を上司に報告	立			検		○
			杭頭の処理方法, 結果の確認, 切り取り部分の処 理杭頭の補強方法	立			○		○
	(4.2.2) 試験杭	(4.3~4.5)	特記なき場合最初の1本, 支持力・支持地盤の確 認各種管理基準値, 場合によって施工計画変更	立		←	検	特記の確認	○
(4.2.5) 報告書	(4.3.8, 4.4.7,4.5.7) 施工記録	すべての杭, 継手, 打込み深さ, 高止まり量, セメ ントミルク量, 施工時間, 杭の傾斜, 水平 方向のずれ, 推定杭耐力, 杭頭処理		←	←	○			
(4.6.3~4.6.6) 割り石, 砂, 砂利, 捨コンクリート地業床 下防湿層	(4.6.2) 材料	品質・形状・寸法・厚さ				○	再生クラッシュランの使用		

区分	監督項目		主な事項	立会 いの 別	監督員の任務区分			備考	写真 撮影
	要 点	細 目			総括	主任	担当		
地 業 工 事	(4.6.3~4.6.6) 割り石, 砂, 砂利, 捨コンクリート地業床 下防湿層	(4.6.6) 施工記録	締め固め状況, 仕上がりレベル				○		○
	(4.2) 施工試験	(4.2.3) 杭の載荷試験	試験箇所数及び試験位置	立		←	○	特記の確認 敷地調査共通仕様書	○
		(4.2.4) 地盤の載荷試験	試験箇所数及び試験位置	立		←	○		○
	地盤改良	(1.2.2) 施工計画書	材料, 工法, 配合条件, 施工管理		←	←	承	建築工事監理指針参照	
		施工記録	効果確認, 圧縮強度試験報告書, 六価クロム溶 出試験報告書		←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照	○
		試験	試料採取	立		←	承		○
鉄 筋 工 事	準備	(1.2.2) 施工計画書	鉄筋工事, ガス圧接			←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
	(5.1.3) 配筋検査	主要構造部の組 立・配筋	鉄筋・埋設物の位置・数量・継手・定着長さ, かぶ り厚さ, 施工図との相違, 鉄筋の種類, ミルシー ト, メタルタグの照合, 組立精度, 開口部補強, 鉄筋の方向	立			検		○
	(5.2) 材料	(5.2.1) 規格証明	JIS 規格データ(規格適合品は試験成績データの 検討)又は建築基準法第37条第2号の大臣認定 書				検	規格証明書等の提出	
	(5.4) ガス圧接	(5.4.2) 技能資格者	ガス圧接技能資格の証明				○	資格証明書の提出	
		(5.4.3) 品質	ふくらみ, ふくらみ長さ, 圧接面のずれ, 偏 心, 折れ曲がり, 焼き割れ, へこみ, 垂れ下が り, 整備済器具の使用	立			○		○

区分	監督項目		主な事項	立会いの別	監督員の任務区分			備考	写真撮影	
	要点	細目			総括	主任	担当			
鉄筋工事	(5.4) ガス圧接	(5.4.9) 試験	(外観) 欠陥の有無, 全圧接部	立			検		○	
			(試験方法) 超音波探傷試験-1ロット30箇所 引張試験-1ロット3箇所	立			承	検査成績書の提出 試験従事者証明書	○	
		(5.4.10) 不合格となった圧接部の修正	原因の調査, 改善措置		←	←	承			
コンクリート工事	準備	(1.2.2) 施工計画書	コンクリート工事, 型枠工事		←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照		
	材料	(6.2~6.5) コンクリートの計画調合書 <配合報告書>	種類, 強度, 種別, 混和材, 温度, 空気量, 水セメント比, スランプ, 単位水量, 単位セメント量, 塩化物含有量, 骨材のアルカリシリカ反応試験報告書の確認 フレッシュコンクリートの試験の適用 コンクリートの強度試験の適用 骨材試験結果報告書の確認 (RC, SRC 造 3 階建以上又は 500 m ² を超えるもの, コンクリート工法に関する指導要綱 (兵庫県))		←	←	承	特記による コンクリートの調合管理 強度は, 設計基準強度 (F _c) + 構造体強度補正值 (S) 試験結果の報告		
	(6.2~6.5) 打設準備	(6.4.1) 製造工場の選定	工場現場内の運搬方法・運搬時間, 工場の製造能力・運搬能力, 施工管理技術者の証明等					承	同一打込工区への複数工場混合使用を避ける	
		(6.3.2) 試し練り	I 類コンクリート以外の場合	立				○	○	
	(6.6) 打設	(6.6.4~5) 打込み・締め固め	固め打止め箇所, 打継ぎの処理, 埋設物の位置確認, 傾斜形シュートの承諾, 目地寸法, 掃除, 散水, 打込み計画書, 打込み後の確認	立				○	○	
(6.6.7, 6.9.6) 構造体補修		主要構造部…補修方法指示→補修後の検査 その他…補修方法の承諾→補修後の確認	立				○	○		

区分	監督項目		主な事項	立会いの別	監督員の任務区分			備考	写真撮影	
	要点	細目			総括	主任	担当			
コンクリート工事	(6.8) 型枠	(6.8.4) 型枠の組立	支保工、型枠の種類、スリーブ、止水板、はく離剤の選定、表面の清掃、紙チューブの力骨・力板断熱材等の位置・固定方法	立			検		○	
		(6.8.5) 存置期間及び取り外し	強度試験結果、材齢、気温、荷重、支柱の盛り替え、型枠締め付け金具の頭処理				○	圧縮強度より定める場合は承諾	○	
	(6.9) 試験	(6.9.1) 適用範囲	試験の省略					承	軽易なコンクリート工事（用途が特に重要でない場合、使用するコンクリートの量が少ない等） 建築工事監理指針参照	
		指定試験所での試験	同意書様式の引渡、試験体に疑義が生じた場合・不合格の場合の対応				←	○		
		(6.9.2～3) フレッシュコンクリートの試験	① 試料の採取 普通コンクリート 150m ³ 毎（荷卸し場所） 軽量コンクリート 150m ³ 毎（荷卸し場所*1） ②試料の数（スランプ、空気量、塩化物量*2） 3台の運搬車×1回＝3回 ③供試体（テストピース）の数 3台の運搬車×3(4)個＝9(12)個（①管理試験用、②脱型用、③材齢 28 日、④ ③では所定の圧縮強度が得られないことが懸念される場合、材齢 28 日以上 91 日以内（セメントの種類が普通ポルトランドセメント以外の場合、材齢は 28 日及び 28 日以上 91 日以内）*3）	立				承	標準仕様書参照 *1 変動が著しいと思われる場合は、その品質を代表する箇所から採取（筒先採取） *2 最初の測定は、打込み当初とし、カンタブを使用する場合は 3 枚 *3 ①標準養生 ②・③現場水中養生 ④現場封かん養生	○
		(6.9.3～6) コンクリートの強度試験	脱型用、管理試験用の強度試験については、必要に応じて確認 材齢 28 日の強度試験については、公的機関等で試験を行うため省略できる	立				承	標準仕様書参照 試験成績書の報告を受ける	○

区分	監督項目		主な事項	立会 いの 別	監督員の任務区分			備考	写真 撮影	
	要 点	細 目			総括	主任	担当			
コン ク リ ー ト 工 事	特殊コンクリート	(6.12) 暑中におけるコン クリートの取扱い	調合・練りませ・運搬・打込み・養生方法, 規定外 混和剤の使用方法の検討				○		○	
		(6.10) 軽量コンクリート	骨材・調合・練りませ・運搬・打込み等の検討				○			
		非構造用軽量コン クリート					○	特記の確認		
		(6.11) 寒中コンクリート	工事用資材と保護施設・調合・養生の方法, それ らの管理方法, 打込み時コンクリート温度, 養生 打切り時期, その他の検討				○	適用期間, 高度差補正 の確認	○	
		その他のコンクリ ート	混和材料の検討				○	特記の確認		
鉄 骨 工 事	(7.1) 一般事項	(1.2.2) 施工計画書	製作要領書, 溶接施工管理技術者 溶接工等技量証明書, 建方計画, 搬入計画		←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照		
		(7.1.3) 鉄骨製作工場	製作工場のグレード, 能力, 精度, 機械, 社内検 査, 運搬, 検査成績表			←	承	特記の確認		
		(7.1.4) 施工管理技術者	資格証明, 工事経歴書の確認			←	承	特記の確認		
	(7.2) 材料	(7.2.1) 鋼材	JIS 規格・マークの確認, ミルシート					検	規格証明書の提出	
		(7.2.2) 高力ボルト	トルシア形, JIS 形, 溶融亜鉛めっき, 径, 首下寸 法, 締付け長さに加える長さ					承	規格証明書の提出	
		(7.2.3) 普通ボルト	材質, 形状, 寸法					承	規格証明書の提出	
		(7.2.4) アンカーボルト	材質, 種類, 規格, 等級, 形状, 寸法					承	規格証明書の提出	
		(7.2.5) 溶接材料	溶接棒, ワイヤー, フラックス, ガス					○	規格証明書の提出	
		(7.2.6) ターンバックル	割枠式, 羽子板ボルト					○	規格証明書の提出	

区分	監督項目		主な事項	立会 いの 別	監督員の任務区分			備考	写真 撮影
	要 点	細 目			総括	主任	担当		
鉄 骨 工 事	(7.2) 材料	(7.2.7) デッキプレート	材質, 形状				○	規格証明書の提出	
	(7.3) 工作一般	(7.3.2) 工作図	現寸図(床書き現寸図) スケール合わせ	立			検	自動加工装置を用いる 場合は作成省略可	○
			各部寸法, ゲージライン, スリーブの位置, 鉄筋貫通孔, クリアランス等				承	特記の確認 鉄骨工作標準図	○
		(7.3.3) 製作精度	部材の組立, 溶接開先加工精度, 溶接形状の 精度				承	鉄骨工作標準図 日本建築学会「鉄骨精度 検査基準」	
		(7.3.5) 切断・加工	自動ガス切断, 剪断切断(厚 13mm 以下), ひず みの矯正, 鉄筋貫通孔径, ボルト孔, 塗装				○		
		製品検査	工作図・現寸図との照合, 製品精度, 各部寸法, 溶接検査, 社内検査基準, 成績表の承諾, のど 厚ひずみ, 超音波探傷試験, 超音波探傷試験技 能資格の証明, 鋼材規格の試験 塗装	立		←	検	工事現場組立符合図 検査報告書	○
	(7.4) 高力ボルト接合	(7.4.2) 摩擦面の処理	浮き錆・塵埃・油の付着等摩擦力を低減させるも のの除去	立			検		○
		(7.4.7) 締付け	一次締付けトルク値, マーキング	立			検		○
		(7.4.8) 締付けの確認	トルシア形: 検査記録の提出を受けた後目視検査 (回転量, ピンテールの破断), ボルトの余長 JIS 形: 検査記録の提出を受けた後目視検査(トル クコントロール法又はナット回転法による場合の確 認), ボルトの余長	立		←	検		○
	(7.6) 溶接接合	(7.6.2) 施工管理技術者	溶接施工管理技術者資格証明書, 工事経歴書 (JIS Z3410 の有資格者)				承		
(7.6.3) 技能資格者		溶接技能資格者の証明				承	技量証明書		
(7.6.10~12) 溶接部の確認・試 験, 補修		施工後(のど厚, 長さ, 形状, ひずみ, 仕上げ)浸 透探傷試験, 磁粉探傷試験, 超音波探傷試験不 合格溶接の補修	立			検	特記の確認 検査成績書, 検査技術 者の資格証明書	○	

区分	監督項目		主な事項	立会いの別	監督員の任務区分			備考	写真撮影
	要点	細目			総括	主任	担当		
鉄骨工事	(7.7) スタッド・デッキプレート溶接		アークスポット溶接, 隅肉溶接, 焼抜き栓溶接 技能者, 精度, 施工, 外観試験, 打撃試験, 不合格溶接の補修, 気温	立			検	特記の確認	○
	(7.8) 錆止め塗装		品質, 塗り回数, 塗装範囲, 塗装の種別, JIS 製品の確認, 接合部の塗り回数, 塗装しない部分	立			○		○
	(7.9) 耐火被覆		厚さおよび密度の検査, 貫通部の処理, 確認ピン, 耐火表示の確認, 耐火被覆材製造所の仕様	立			○	特記の確認 石綿含有率 0%の確認	○
	(7.10) 工事現場施工	(7.10.2) 建方精度	JASS 6 付則 6 鉄骨精度検査基準	立			検	鉄骨工作標準図	○
		(7.10.3) アンカーボルト	位置, 固定方法, 天端仕上げの確認, 種別, 基準墨, 養生, ベースプレートの保持	立			○	特記の確認	○
(7.10.4~5) 搬入・建方		搬入計画, 養生, 仮筋交い, 仮設補強, 安全性の確保, 仮ボルト, ひずみの修正, 建入れ直し, 形状及び寸法精度	立		←	検		○	
コンクリートブロック・ALCパネル ・押出成形セメント板工事	準備	(1.2.2) 施工計画書	補強コンクリート造, コンクリートブロック帳壁及び塀, ALC パネル, 押出成形セメント板工事		←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
	(8.2) 補強コンクリートブロック造 (8.3) コンクリートブロック帳壁及び塀	(8.2.2) 材料	寸法, 形状, 鉄筋の材質, JIS 規格の確認	立			検	特記の確認	○
		施工図	割付け, 配筋位置, スリーブ, 開口部まぐさ, アンカーボルトの位置, 配管ダクト				承	既製まぐさの使用承認	
		施工	壁縦筋は継手しない, 縦やり方, 調合, 配筋, 開口部補強, 一日の積上げ段数, 上部すき間モルタル詰め, 目地, 寒冷期の施工, 基準墨	立			○		○

区分	監督項目		主な事項	立会 いの 別	監督員の任務区分			備考	写真 撮影	
	要 点	細 目			総括	主任	担当			
・ コンクリートブロック・ALCパネル ・ 押出成形セメント板工事	(8.4~5) ALC パネル, 押出成形セメントパネル	(8.4.2) 材料	コンクリートの調合・配筋・打込み金物の位置の確認, JIS 規格品(寸法, 精度, ひび割れ, 破損)				○	特記の確認 検査成績表 検査記録	○	
		施工図	パネルの割付け・取付け金物の位置, 寸法				承			
		施工	外観パネル, 間仕切壁・屋根及び床パネルの工法の確認, 組立て機械, 組立て順序, つなぎ材, 控え材	立				○	特記の確認	○
		部材	取付け金物・JIS の確認					検	検査記録	○
		組立て完了	組立て位置の精度, 接合用鋼材の芯ずれ, ひび割れ, 破損, ねじれ	立				○		○
防 水 工 事	(9.1) 一般事項	(1.2.2) 施工計画書			←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照		
		防水施工者	指定施工業者の確認			←	承			
		保証書	請負人, 材料製造所, 防水施工者の連帯保証			←	承	特記の確認		
	(9.2)アスファルト防水 (9.3)改質アスファルトシート防水 (9.4)合成高分子系ルーフィングシート 防水 (9.5) 塗膜防水 (9.6)ケイ酸質系塗膜防水	防水材料	指定製造所の確認, JIS マークの確認, 特殊ルーフィング等の指定, メーカーの確認, 所要量					検	品質証明書	○
		防水層の下地	下地の塗りむら, 水勾配, 落口廻り勾配, 下地乾燥の確認, 下地クラックの処理	立				○		○

区分	監督項目		主な事項	立会 いの 別	監督員の任務区分			備考	写真 撮影
	要 点	細 目			総括	主任	担当		
防 水 工 事	(9.2)アスファルト防水 (9.3)改質アスファルト シート防水 (9.4)合成高分子系ルー フィングシート 防 水 (9.5) 塗膜防水 (9.6)ケイ酸質系塗膜 防水	施工	塗布方法, 増し張り, 指定層数, 厚さ, 重ね, ドレ ンとの取合い, 既設防水層との取合い, 配管類と の取合い, 立ち上がり部納まり	立			検		○
		漏水試験		立	←	←	承	特記の確認 結果報告書提出	○
		押え層仕上げ	押さえコンクリートの骨材の確認, 伸縮目地充填 材・目地割り, EXP.Jの納まり				○		○
	(9.7) シーリング	(1.2.2) 施工計画書	材料, 有効期間の確認, 被着体に応じたもの, バックアップ材, ボンドブレーカー		←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
		(9.7.2) 材料	シーリング材の種類, バックアップ材				○	特記の確認	○
		(9.7.4) 施 工	気温, バックアップ材・ボンドブレーカーの挿入状 況の報告施工箇所, 目地幅・厚み等・サンプル試 料の提出				検		○
	石 工 事	(10.1~10.2)	(1.2.2) 施工計画書			←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照
		施工図	石割付図, 取付け方法, 危険防止, 一枚の大き さに注意(製作可能の限度, ひずみを起こす限度) 運搬限度, 取付け詳細, 伸縮目地, 目地幅			←	承		
		(10.2.1) 材料	品質, 産地, 仕上げの限度, ひずみ, 色調, 種石 の種類, 粒の大きさ, 色合い及び仕上げの程度, 製作期間の確認	立			○	特記の確認 見本品の提出	○
(10.3~10.7) 工法		施工	目違いの有無, 下地との緊結状態, 裏込めモルタル, 養生, 清掃, 防水剤, ひっぱり・取り付け金物	立			○	特記の確認	○

区分	監督項目		主な事項	立会 いの 別	監督員の任務区分			備考	写真 撮影		
	要 点	細 目			総括	主任	担当				
タ イ ル 工 事	(11.1～11.4)	(1.2.2) 施工計画書			←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照			
		施工図	平, 役物, 水切りタイル等の使用区分, 目地幅, 取合い材との納まり, 設備器具との取合い				←	承	割付図の提出		
		材料	品質, 寸法, 指定メーカーの有無, 見本品の決, 色調, 製作期間の確認, 既製調合モルタル, 見本焼き						○	特記の確認	○
		施工	下地モルタル, 防水剤使用の有無, 床の水勾 配, 目地の仕上げ及び幅, 養生, 清掃 せき板の散水, コンクリートの締め固め, 型枠取 り外し, 目地仕上げ, 清掃	立					○	特記の確認	○
		(11.1.5) 打診確認	屋外のタイル張り及び屋内の吹抜け部分等のタ イル張り					←	○	検査結果報告	○
			浮き・ひび割れ等によるタイルの張直し	立					承	検査結果報告	○
		(11.1.5) 接着力試験	試験体の位置の指示 (陶磁器質タイル張り)0.4N/mm ² 以上 (陶磁器質タイル型枠先付け)0.6N/mm ² 以上	立				←	承	検査結果報告	
木 工 事	(12.1～12.7)	(1.2.2) 施工計画書			←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照			
		施工図	各部寸法, コンクリートの取合い, 仕上げとの関 係, ちり, 軸組方法, 合板, 割り付け, 設備機器と の取合い, 点検口				←	承			
		(12.2) 材料	樹種(代用樹種), 寸法, 等級, 材長, ひき立て・ 仕上がり寸法に注意, 集成材, 含水率, 防腐処 理, 防蟻・防虫処理材の確認(特記による)釘, 構 造金物, 接着剤						○	発注書の提出 JAS マーク, JIS マーク 防蟻・防虫処理材証明 書提出	○
		施工	接着剤, 仕口, 継手, 水平, 通り, 緊結金物, 防 腐剤塗り, 主要墨の確認	立					○		○

区分	監督項目		主な事項	立会 いの 別	監督員の任務区分			備考	写真 撮影	
	要 点	細 目			総括	主任	担当			
屋根及び土工事	(13.1～13.5)	(1.2.2) 施工計画書	長尺金属板葺, 折板葺, 瓦葺, とい 耐風圧性		←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照		
		施工図	軒先, 棟, ケラバの納まり, 谷どい, ルーフドレイン, とい受け金物の位置, 防露材, 防火区画の貫 通, 断熱材の取付け			←	承			
		材料	指定製造所・工法の確認, 厚さ, 品質・形状の確 認, 色調					○		○
金属 工事	(14.1～14.8)	(1.2.2) 施工計画書			←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照		
		施工図	割付け, アンカーボルトの位置, 開口部補強, 材 質・形状・寸法・固定方法・埋め込み金物の間 隔, 周辺との取合い, 設備機器との関係			←	承			
		材料	材質・寸法・形状 溶融亜鉛めっきの外観検査, JIS 規格品の確認			←		○	見本品の承諾 仕上げ, 色合いの承諾	○
		施工	寸法・固定方法, ねじれ, 曲り, 仕上げ, 通り, 埋 込み金物の位置, 補強材, 養生, 安全性の確認 (特に手すりの高さ, 手すり子のピッチ, 足元のクリ アランス, 足掛かり高さ等に注意), 開口補強	立				○	主材製造所の仕様	○
左 官 工事	(15.1～15.8)	(1.2.2) 施工計画書			←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照		
		材料	JIS マーク確認, 指定製造所, 指定品質の確認, 塗り見本の決定, 砂の粒度, 接着剤の種別, 混和 剤, 給水調整剤, 塩分, 仕上げ, 色合い					○	見本品の承諾 仕上げ, 色合いの承諾 塗布量の報告	○
		施工	混和剤の使用量, 下地湿し, 定規ずり, 床勾配, 目地切り, こて押さえ・研出し仕上げの程度, 塗 り・吹付け厚さ及び回数, 養生方法	立				○	下地処理 下塗り養生期間	○

区分	監督項目		主な事項	立会 いの 別	監督員の任務区分			備考	写真 撮影	
	要点	細目			総括	主任	担当			
建 具 工 事	(16.1～16.13)	(1.2.2) 施工計画書	アルミニウム製建具, 鋼製建具, 鋼製軽量建具, ステンレス製建具, 木製建具, 重量シャッター, 軽 量シャッター, オーバーヘッドドア		←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照		
		施工図 (建具製作図)	神戸市型の確認, 取合各部関連工事との納まり, 金具取り付け部分等の補強, 表面処理方法, 下 地, 金物, ガラス取付け方法, 材種, 寸法, 形状, ビス材種・形状			←	承	建具見本の製作は, 特 記による。		
		製品	内法, 部材寸法, 仕口, 材質, 溶接跡, ひずみ, 通り, 防錆処理, 金物用穴あけ, 取付け足, 組立 て方法, 仕上げの程度, はずれ止め					○	○	
		性能	耐風圧性, 気密性, 水密性, 遮音性, 防火性					承	特記の確認 試験成績書の提出	
		取付け	位置, 立ち, 水平, ひずみ, 通り, 枠廻り, 踏づり, 周囲モルタル詰, クサビ取り, 溶接部の塗装					○	○	
		開閉調整	開閉調整, 施錠調整, 仕上げ塗装完了後再調整 操作方法表示					○		
		(16.8) 建具用金物	指定金物の確認, 性能の検討, 材質, 寸法, 数, 建具の大きさ・重量との関係					承	見本品の提出	
	鍵	種類, 施錠の方向, マスターキーの検査・鍵の名 札, 非常用時操作方法の表示, 鍵箱					○	施錠計画(マスターキー) 鍵の一覧表の提出		
	(16.14) ガラス	材料	規格, 種別, 厚さ, パテの規格, ガasket					○	見本品の提出	
		施工	敷パテ, クリップ取付け間隔, 清掃, 破損防止, ガ asket, シーリング, 防錆処理	立				○		
オ ー ル テ ン ウ	(17.1～17.3)	(1.2.2) 施工計画書	工場生産のメタルカーテンウォール・PC カーテン ウォール		←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照		
		施工図	形状, 寸法, 仕上がり, 必要性能, 組立て法, 金 物取り付け部分の補強, 表面処理方法, ガラス取 付け方法, 関連工事との納まり			←	承	特記の確認		
		製品	材質, 形状, 表面仕上げ, コンクリートの種類・ 品質, 鉄筋, ガラス					○	特記の確認	○

区分	監督項目		主な事項	立会いの別	監督員の任務区分			備考	写真撮影
	要点	細目			総括	主任	担当		
オカール工事	(17.1～17.3)	性能	形状、寸法、耐風圧性、耐震性、水密性、気密性、耐火性、耐温度差性、遮音性、断熱性など	立			承	特記の確認	
		取り付け	立ち、水平、ひずみ、通り、防錆処理、アンカー、溶接部の塗装、周囲モルタル詰め、シーリング材料、ガスケット、断熱材料、摩擦低減材料、取り付け金物、許容寸法				○		○
塗装工事	(18.1～18.14)	(1.2.2) 施工計画書	コンクリート、木部、金属、ボード類、左官塗り等の素地、MSDS		←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
		材料	材種の確認・見本帳・見本塗り板、F☆☆☆☆				○	特記の確認	○
		施工	ラワンの目止め、きず補修、節止め、金属面の処理、工法の種別、下地面の乾燥、各層の乾燥程度、ペーパー掛け、はけ斑、塗り回数、吹き付けの養生、換気、気温、火気注意				○		○
内装工事	(19.1～19.9)	(1.2.2) 施工計画書	床、壁、天井		←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
		(19.2.2) 材料	JIS マークの確認、指定製造所の確認、ボード釘の種類、接着剤の種類、見本品、色合い、模様、厚さ、F☆☆☆☆				○	特記の確認 証明書(格付け、難燃・不燃、防虫処理等) 品質検査、検査報告書	○
		施工図	床、巾木、壁・天井の割り付けを関連して検討する。シート類の継手、はぎ目の位置、床材の継手位置調整			←	承		
		(19.2.3) 施工	むら、下地面のくいちがい、トーチランプによる表面の汚損、接着剤のはみ出し、養生、仮敷き				○		○

区分	監督項目		主な事項	立会いの別	監督員の任務区分			備考	写真撮影
	要点	細目			総括	主任	担当		
ユニット及びその他工事	(20.1) 一般事項 下記以外	材料	指定製造所の確認, 見本品の承諾, 仕上げ, 色合いの承諾, 材質, 寸法, 接着剤, 性能				○		
		施工	寸法(特に高さ・手すり子のピッチ・足元のクリアランス, 足掛かり高さ等に注意)・固定方法・設備工事の関連・埋込み金物の間隔・安定性の確認, 防腐	立			○		○
	(20.2) ユニット	材料	材質, 形状, 寸法, 接着剤, 品質, 色合い				○		
		施工	アンカーの間隔, 色の決定, 安全性	立			○		○
	(20.3) プレキャスト コンクリート	(1.2.2) 施工計画書	手すり, 段板, ルーバー等の工場製品		←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
		材料	調合, 鉄筋, 補強鉄筋, 取り付け金物, 養生				○		○
		取付け	溶接工資格, 取り付け部溶接の確認, 隠蔽部	立			○		○
	(20.4) 間知石及びコンクリート 間知ブロック積み	材料	材質, 形状, 表面仕上げ, コンクリートの調合				○		
		施工	遣り方, 裏込めコンクリート厚さ, 一日の工程・積上げ高さ, 目地仕上げ, 養生, 水抜きパイプ	立			○		○
	敷地境界石標	製品	仕上り, 文字, 記号				○		
施工		据え付け番号順序, 据付け位置, 据付け方法, 固定具合	立			○	隣地地主・その他関係者の立会いを求める	○	
排水工事	(21.1~21.4)	(1.2.2) 施工計画書	屋外雨水排水工事		←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
		材料	排水管の品質, 径, 形状, 割れ				○		○
	通水試験			立			承		

区分	監督項目		主な事項	立会 いの 別	監督員の任務区分			備考	写真 撮影
	要点	細目			総括	主任	担当		
排水工 事	(21.1～21.4)	(21.3) 施工	水流れ勾配, 継手モルタル詰め, 危険防止, 交通障害の考慮				○		○
舗装工 事	(22.1～22.10)	(1.2.2) 施工計画書	構内舗装, 側溝, 街きよ, 縁石		←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
		材料	JIS規格品, 種別及び見本 種別の確認, 砂利, 砕石の質・粒度・調合, コンクリート平板のきず・割れ				○	品質証明書	
植栽工 事	(23.1～23.5)	(1.2.2) 施工計画書			←	←	承	特記の確認 建築工事監理指針参照	
		材料	樹木(種別, 葉張り, 高さ, 幹目通り寸法), 客土, 肥料, 支柱 芝(種類, 活き状態), 土壌改良材			←	○		
		施工	植栽基盤の整備 (仮植, 移植, 施肥, 養生, 散水, 支柱) (専門業者による) 地盤の土質, 勾配, 芝の目地, 留付け, 土羽打ち, 散水養生, 養生				○	枯れ補償は1年	○
耐震改修工 事	準備	施工計画書	工法, 材料等		←	←	承	改修特記の確認 建築改修工事監理指針参照	
	材料	(8.2.11) グラウト工事	仕様の確認, グラウト材の実績資料		←	←	承	実績資料等の提出	
			無収縮モルタルの試験, 採取	立	←	←	○	試験成績書の提出	○
	(8.11) あと施工アンカー	あと施工アンカー	施工管理技術者及び技能者証明資料等		←	←	承	資格証明書等の提出	○
			(外観)欠陥の有無, 穿孔(径・深さ・清掃)アンカーの余長等の確認等	立			検	改修特記の確認 建築改修工事監理指針参照	○
(試験方法)引張試験			立			検	改修特記の確認 試験成績書の提出	○	

区分	監督項目		主な事項	立会いの別	監督員の任務区分			備考	写真撮影
	要点	細目			総括	主任	担当		
アスベスト含有建材の処理工事	(9.1.2) 届出		アスベスト工事に係る各届出書の確認		←	←	○	特記の確認 安衛法又は石綿則	
	(9.1) アスベストの処理工事	(9.1.2,9.1.3) 施工調査等	アスベスト含有材料の所在場所、部位、種別、厚さ及び使用面積等の確認		←	←	○	調査結果の提出	○
		(9.1.2) アスベスト粉じん測定 の報告書	専門測定機関により、測定結果、測定時間、測定位置、サンプリング条件の確認	立	←	←	○	特記の確認 建築工事監理指針参照 報告書の提出	
	(9.1) アスベストの処理工事	(9.1.2,9.1.3) 施工計画書	工事概要、管理組織、工事工程表、使用処理剤の説明、仮設計画、作業要領及びアスベスト廃棄物処理計画、技術審査証明書、特化作業主任者(H18.3.31までの取得者に限る)又は石綿作業主任者の技能講習修了証、特別管理産業廃棄物管理責任者修了証、特別教育実施記録等の確認		←	←	承	特記、改修特記の確認 建築改修工事監理指針参照 関連法規等の確認	
		(9.1.2,9.1.3) 安全衛生管理	各処理工事に応じて休憩室の設置、洗浄設備、負圧除じん装置、立入禁止等の表示、養生、セキユリティゾーンの設置等の確認	立		検	検	保護衣等・保護具着用 関連法規等の確認	○
		標識	①吹付け石綿等、石綿含有保温材等を使用する建物の解体・改修工事は黄色地の標識 ②①以外は、白地の標識				○	補足共通仕様書の確認 標識の掲示	
		(9.1.2,9.1.3) 処理工事	アスベスト処理作業場以外(周囲)の安全衛生等の確認				○		○
		(9.1.2,9.1.3) 検査及び後片付け	養生等の撤去後アスベスト処理面の確認	立	検	検	検	保護衣等・保護具の着用	○
		(9.1.2,9.1.3) 施工記録	施工計画書、工事記録写真及び工事写真、産業廃棄物処理記録、施工調査等記録、作業者の作業記録、その他必要事項		←	←	○	施工記録の提出	

区分	監督項目		主な事項	立会 いの 別	監督員の任務区分			備考	写真 撮影
	要 点	細 目			総括	主任	担当		
とりこわし等工事	施工計画書		工事の届出, 仮設計画, 解体工法, 解体順序, 養生方法, 解体材の処分方法及び処分先, 解体材の運搬経路, 作業予定, 安全対策, 在来地盤高の明記, 石綿建材の処理(法, 条例等の確認), 再生資源利用(促進)計画書		←	←	承	特記の確認 PCB 処理は「電気設備」を参照	
	施工範囲		近隣家屋, 土地, 道路などの現況確認, 撤去範囲の確認, 設備引込み類の処理方法の確認	立			○	特記の確認	○
	施工		騒音, 振動, 塵埃, 安全対策, 道路の汚損防止	立			○	特記の確認 「建設工事公衆災害防止対策要綱」	○
	建設副産物の発生の抑制, 適正処理及び再利用の促進		処分場, 再資源化施設 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の確認				○	特記の確認 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」 「建設副産物適正処理推進要綱」 「再資源利用〔促進〕(計画・実施)書」の提出	